

新型コロナウイルス感染症対策に伴う分散登校等に対応した学習指導の工夫

臨時休業期間中に学校が課す家庭学習については、指導計画等を踏まえ、各教科等において、主たる教材である教科書及びそれと併用できる教材に基づくものであることが文科省の通知文に示されています。

臨時休業期間に伴う未指導分の学習保障や分散登校の実施に対応するためには、単元や題材の学習指導計画を家庭学習を含めて構想する等、柔軟な対応が求められます。

例えば、各校の年間指導計画に基づき、「学校で行う学習」と「家庭で行う学習」を関連させた単元（題材）の学習指導計画を作成することが考えられる。

学校で指導することが望ましい学習（例）

- ①新しい知識・技能を習得する。
- ②それぞれの考えを交流する。
 - ・話し合いによる交流（配慮が必要）
 - ・掲示物や通信等による紙面での交流
- ③振り返り
 - ・自己の学びの変容を自覚する
 - ・次の学習に対する動機付け 等

家庭で進めることが可能な学習（例）

- ①習った知識・技能を確実に身に付ける。
（反復、練習等）
- ②習った知識・技能を使って考える。
（活用、発展等）
- ③教科書や資料等を読んだり、調べたりする。
（内容の理解、確認等）
- ④実際にやってみる。
（製作、演奏等）

※①～④は、教科や学習内容によっては、家庭での学習が難しいものもある。

各校の分散登校の日程等を考慮し、「学校で行う学習」と「家庭で行う学習」を関連させた単元（題材）の学習指導計画を立てる。

単元の指導計画や家庭学習の手順を示した「自宅で行うワークシート」等の作成

分散登校の実施に対応した学習指導の例

単元構想

学習計画

年間指導計画に基づく指導を踏まえ、家庭学習を課すことを前提に、単元を構想する

2日に1日の割合で分散登校を実施する場合（例）

曜日	月	火	水	木	金	週末
1週目	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	必要な 家庭学習 を課す
2週目	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	

- ◆月曜日に指導した内容を、火曜日の家庭学習で補完する。
- ◆家庭学習は、登校日に学習した内容の習熟を図る内容（知識・技能）や、知識・技能を活用して問題を解決する内容（思考・判断・表現）等、そのバランスに配慮する。（単なるドリル学習とならないような工夫が必要）
- ◆家庭学習は次の登校日で提出させ、児童生徒の学習状況を把握する。定着が不十分と認められる場合は、登校日に再度指導したり、必要に応じて、週末の課題として課したり、学校再開後に補充指導の時間を確保したりすることが考えられる。

指導の例

指導と家庭学習の計画（例） 第5学年「体積」(B(4)立体図形の体積)

小単元1「直方体や立方体の体積」

- ① 体積の単位
- ② 体積の求め方
- ③ 体積の公式

小単元2「大きな体積の単位」「容積」

- ④⑤ 大きな体積の単位
- ⑥ 容積
- ⑦ 体積の単位と水のかさの単位(L)の関係
- ⑧ 体積の単位

小単元3「体積の公式を使って」

- ⑨ 複合図形の体積の求め方
- ⑩ おかしを多くつめよう！
(→週末課題)

曜日	月	火	水	木	金	土日
1週目	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	週末課題(例)
	①②③	・体積を求める問題 ・体積から辺の長さを求める問題 など	④⑤⑥	・大きな体積を求める問題 ・ひもを使って1mをつくる	⑦	自宅のおふろの容積を調べる など
2週目	家庭学習	登校日	家庭学習	登校日	家庭学習	土日
	・体積と水のかさの単位の関係の問題 など	⑧	・単位換算の問題 ・石などの体積を求める問題、活動 など	⑨	・複合図形の体積 ・単元末のまとめ問題 など	⑩